

## \* NOTICES \*

Japanese Utility Model Registration  
No. 3032979

②

JPO and NCIP are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

CLAIMS

---

[Utility model registration claim]

[Claim 1] On the base fixed to right and left at intervals of predetermined on the predetermined flat surface, shaft the end face section of a piston shaft, respectively, and the vertical said \*\* is made free. The frame type television frame which supports the body of television from under is made to \*\*\*\* to the point of the cylinder which carried out fitting to the above-mentioned piston shaft through the O ring. As nothing as adjustment of a breadth being possible and television attachment equipment characterized by enabling it to carry out an arbitration setup of the include angle for a cylinder a core [ the above-mentioned frame pivot ] of the frame concerned

---

[Translation done.]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3032979号

(45) 発行日 平成9年(1997)1月17日

(24) 登録日 平成8年(1996)10月23日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 5/64	5 2 1		H 0 4 N 5/64	5 2 1 F
	5 8 1			5 8 1 C

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願平8-7647

(22) 出願日 平成8年(1996)6月27日

(73) 実用新案権者 596113638

有限会社山内工業

静岡県磐田郡竜洋町大瀬870番地

(72) 考案者 山内 司行

静岡県磐田郡竜洋町高木1-63

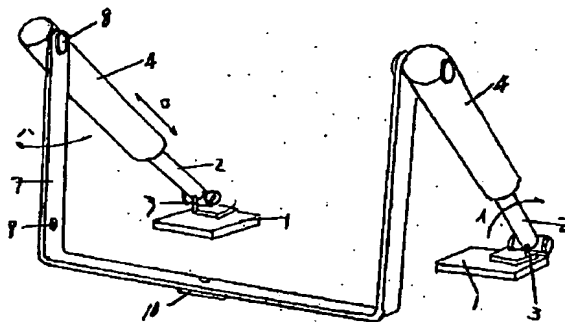
(74) 代理人 弁理士 浅野 保男

(54) 【考案の名称】 テレビ取付装置

(57) 【要約】

【課題】テレビ本体の設置条件、特に自動車内における運転者の運転操作に支障、妨害を与えることなく安全性を確保し、簡単且つ容易にテレビの取付け設置ができる装置を提供せんとするものである。

【解決手段】所定平面上に所定間隔で左右に固定したベース1、1上にそれぞれピストンシャフト2の基端部を軸装して上下回動自在とし、Oリング5を介して上記ピストンシャフト2に嵌合させたシリンダ4の先端部にはテレビ本体6を抱持する枠型のテレビフレーム7を螺支せしめ、当該フレームの幅員を調整可能となし、且つ上記フレーム支軸8を中心に対シリンダ角度を任意設定しうるようにしたものである。



1

2

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 所定平面上に所定間隔で左右に固定したベース上にそれぞれピストンシャフトの基端部を軸装して上下同動自在とし、Ｏリングを介して上記ピストンシャフトに嵌合させたシリンダの先端部にはテレビ本体を保持する枠型のテレビフレームを螺支せしめ、当該フレームの幅員を調整可能となし且つ上記フレーム支軸を中心に対シリンダ角度を任意設定しうるようにしたことを特徴とするテレビ取付装置

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の斜視図である。

【図2】 シリンダ関連部を示す平断面図である。

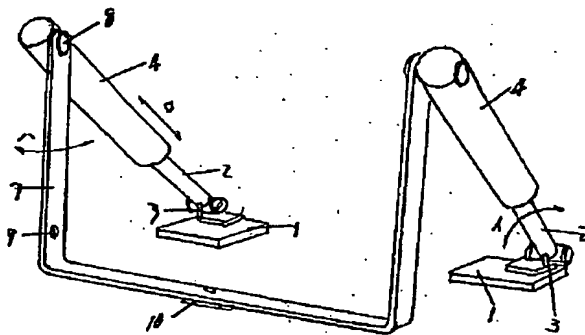
【図3】 テレビ本体を組付けた状態を示す斜視図である。

【図4】 テレビフレームの中間一部断面図である。 \*

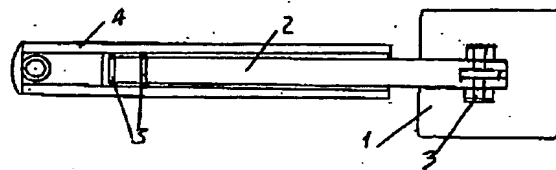
## \*【符号の説明】

- |    |           |
|----|-----------|
| 1  | ベース       |
| 2  | ピストンシャフト  |
| 3  | 止金具       |
| 4  | シリンダ      |
| 5  | Ｏリング      |
| 6  | テレビ本体     |
| 7  | テレビフレーム   |
| 8  | 支軸        |
| 10 | 9 ネジ孔     |
|    | 10 キャップ座金 |
|    | 11 ボルト    |
|    | 12 摺合溝    |
| a  | 前後摺合片     |
| b  | 前後摺合片     |

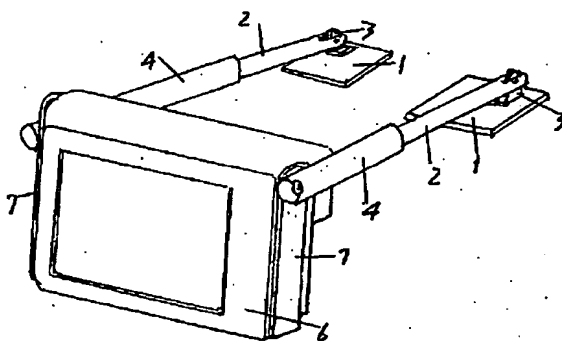
【図1】



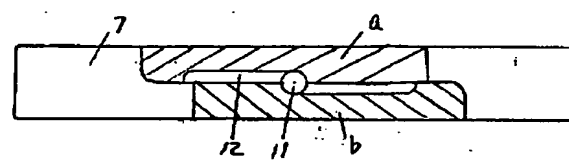
【図2】



【図3】



【図4】



**【考案の詳細な説明】****【0001】**

**【考案の属する技術分野】** この考案は所定の平面上に、特に自動車内に装備したテレビ本体の取付に適応せしめたテレビ取付装置に関するものである。

**【0002】**

**【従来の技術】** テレビジョンの活用分野が拡大して、一般的な設置形態も機種的大小や設定場所、視聴位置などに対応した考慮が払われており、例えば設定位置においてそのまま本体の角度を変更することができるように構成したものは既に周知の所とされている。

**【0003】**

最近ではテレビ本体が自動車に装備され、その大多数が運転席に近くダッシュボード上に定置されている小型製品が普及しているが、運転者の視界の移動変化に伴う神経的乃至精神的、肉体的負担は運転操作上安全確保に多大な不安原因となることは否めない現実であり見逃すことはできない。

**【0004】**

**【考案が解決しようとする課題】** かかる観点から、テレビ本体が設置される環境条件に拘わらず、特に上記の如く自動車内での小型テレビ設置に関して不安原因を解消し、簡単且つ容易で汎用性を備えたテレビ取付装置を提供することは緊要事であり本考案の目的とする課題とされる。

**【0005】**

**【課題を解決するための手段】** 本考案はテレビ本体の所望設置部位にテレビ本体を抱持するテレビフレームを上下及び前後方向に回転自在に装設して任意視聴者の環境並びに対応条件を最適ならしめるよう構成したものである。

**【0006】**

**【考案実施の形態】** 本考案の実施の態様を実施例で以下図面につき説明する

**【0007】**

**【実施例】** 図1は本考案の斜視図で、1は所定平面上（本実施例では自動車のダッシュボードを想定する）に所定間隔で左右に固定したベースで、その固定手段は裏面と対象面とを両面接着テープで安定してもよいし、吸着盤を使用して

もよい。

【0008】

図2はシリンダ関連部を示す平断面図であり、2はピストンシャフトで、基端部をベース1上の止金具3に軸支させて支点を中心として矢印イ図示のように上下回動自在ならしめる。

【0009】

4はOシリンダ5を介してピストンシャフト2に嵌合したシリンダで、矢印ロ方向に伸縮自在とされその先端部にはテレビ本体6を抱持する枠型のテレビフレーム7を軸支し、当該支軸8を中心としてテレビフレーム7とシリンダ4との相対角度を任意変更することができる。(矢印ハ参照)9はテレビ本体6の上記フレーム7への締付ネジ孔である。

【0010】

図4はテレビフレーム7の水平面中間部に設定した伸縮調整摺合構造を示す断面図で、キャップ座金10のボルト11を介して前後摺合片a, bの摺合溝12の長短移動によってフレーム7の幅員変化により通常例としてテレビモニターの4吋～7吋サイズ変更が可能であり、このサイズ変更量に対応して左右ベース1、1間隔設定を同調させることが必要であることは言うまでもない。

【0011】

【考案の効果】

本考案は上記のごとく構成したものであるから図3に例示するようにベース1、1を自動車のダッシュボード上適当位置に安定してテレビフレームに抱持されるテレビ本体を上下に(矢印イ)或いは前後に(矢印ロ)又はモニター画面の角度変化(矢印ハ)を任意に移動して運転者の最も適応した環境条件のもとで利用することができる。又、ナビゲーション使用時には、設置したダッシュボード上より引き出して運転席に最も近く最も運転に支障のない位置にセットできる。テレビが必要でない時は、ダッシュボード上に平面状に縮小し、厚さはテレビモニターの厚さのみで収納し、運転視界の最大限確保が可能とされるし、又ダッシュボード上で立てたままテレビを見ることができる。しかもモニター画面は固定ではないので、上下左右に引き出し、又振ることができる。更に又、テレビフレー

ムの幅員調整が可能であり、各種テレビモニターの4吋～7吋サイズへテレビ取付ネジ1本でサイズ変更の対応性を備えている。本考案は、助手席へのエアバック取付車においてもダッシュボード上、運転席に近い位置にセットできるし、平面状に縮小してテレビ厚みだけになるので、エアバック作動時でも妨げとなることなく、使用時もダッシュボード下位になるためテレビモニター使用時の運転中の前方視界妨害もなく、モニターも見やすいなど上記各条件、状況下にあって本考案の設置は構造きわめて簡単で経済的負担小であり安全運転確保上に寄与する実用的な効果は著大である。